

◇次週礼拝◇

説教 地の果てまで

中沢 譲牧師

聖書 新約 使徒言行録 11:4-10

讃美歌 394 361 77 65-2 88

交読詩編 46:9-12

◇次週子どもの教会礼拝◇

説教 エルサレム訪問

I.M

聖書 使徒言行録 9:26-30

◇本日の集会◇

聖書に学ぶ会 礼拝後

「律法と手を洗うこと。あと信仰告白」

教会生活サポート担当者会

◇ようこそ教会へ◇

初めて教会に来られた方、学校の紹介で来られた方、歓迎します。

◇新型コロナウイルス予防対策◇

6月役員会で、コロナ感染の再拡大の状況について検討し、7月は、礼拝のプログラム短縮は継続しますが、月初めの聖餐式は行います。

*来会されたら、まず入口で手指の消毒をお願いします。礼拝中も、マ

スク着用をお願いします。

*なるべく間隔をあけてお座りください。

*礼拝中は、会堂側面の窓を細く開け、天井の換気扇で換気します。

*発熱や咳など体調不良の方、ご家族に症状のある方は、来会を控え、ご自宅での礼拝をお願いします。

*子どもの教会は、短縮礼拝を継続しますが分級は行います。

◇報告とお願い◇

次主日は、聖餐式があります。

教会墓所（東戸塚教会と共同）について、敷石の一部に修理が必要ながわかりました。現在、修理見積を依頼中です。

週報、役員会報告、会計報告などの印刷物は、毎月第四主日に会員に発送します（7月は23日の郵送を予定）。また、主日礼拝の「説教プリント」を作成しています。週報のメール配信と共に説教も配信します（配信希望者はHP担当まで）。「説教プリント」は、希望者に郵送もできます（希望者は牧師まで）。YouTubeでの礼拝限定配信の希望者は、中沢譲牧

師のメールアドレスにご連絡ください。

◇今週の誕生者◇

P.Sさん K.Cさん

◇集会状況◇

集会	日	出席
CC 子ども	18	1
おとな	18	6
成人クラス	18	4
主日礼拝	18	51

◇牧師室より◇

哲学者キルケゴールは、著書『哲学的断片』の中で、「信仰は与えられるものである」と述べている。この言葉から読み取れるのは、「信仰は人間の努力だけで成るものではない」という信仰理解だ。

キルケゴールは、キリスト教の本質を「逆説」だと表現している。それは「神が人となった」宗教だからである。神とは永遠の存在であり、死とは無関係の存在であったはずだ。ところがその神が地上に誕生し、十字架に架けられ、死を迎えるという逆説的事件が起きた。キルケ

ゴールは、この逆説がキリスト教の根幹をなしていると考えたのである。そしてこの逆説を受け入れることができたのは、「信仰は与えられるもの」だからだ、ということなのだ。

しかし多くの信仰者の場合、どうだろうか。自分は神様に招かれて教会を訪れたと考えているだろうか。むしろ自ら救いを求めてやってきて、教会のドアを叩いたと思っているのではないだろうか。自分で自分を救う努力をしたのだとも言える。その結果、教会に通うようになり、受洗したと受け取っている人は、おそらくおられるだろう。

もしキルケゴールが語るように、「信仰は与えられるものである」のだとすれば、キリスト者はどこかで、「信仰的挫折」を経験する、ということになる。信仰におけるパラダイム（価値観）転換が起きるという意味だ。キリストの体なる教会は、人間の努力だけで成るものではない。矛盾に満ちつつも、希望ある共同体として歩むことができればと、横浜港南台教会の創立記念の日に思う。

（中沢譲）